

# 情報通信技術教育者合同2014 開催報告書

2015年3月10日(火)

東京大学本郷キャンパス工学部2号館

主催:ICT教育推進協議会

後援:経済産業省・総務省

# 開催概要

## ・主催者挨拶

今年度の「情報通信技術者合同会議」でございますが、3月10日(火)に開催する運びとなりました。この合同会議は、ICT教育推進協議会の2010年4月の発足以来、毎年開催してまいりまして、今回で、5回目の開催となります。

ICT教育推進協議会は、ICT教育に携わる先生方・教育機関が、社会・産業界が必要とする優秀な人材を育成・供給するための一助となるに資する活動を行うべく、人材の受け皿となる産業界と、人材を育成する教育会のかげ橋になるよう、活動を行ってまいりました。2011年3月11日に起こりました東日本大震災や、2020年の東京でのオリンピック・パラリンピックの開催の決定など、ますます、ICTシステムが今後の社会・産業の最重要インフラをささえる重要技術・インフラであることが認識され、ICTシステムの継続的進化が、21世紀の社会産業にとって、必須のものであることが共通認識となりました。

すなわち、現代及び今後の社会・産業は、ICTシステムの存在と進化を前提とした、ICTネイティブな社会・産業基盤と深化しなければなりません。また、ICT産業は、グローバルシステムを前提としていましたが、グローバル化は、ICT以外のすべての産業に波及するとともに、すべての産業がICT基盤の存在を前提とするように変化しました。その傾向は、減速することなく、ますます加速しています。すなわち、市場としての海外は、企業活動そのものを含む領域へと変化を遂げ、企業システムは、必然的にグローバル化しました。我々は、このような21世紀型の社会・産業を支えるICTシステムを設計・構築・運用、そして進化・深化させることができる人材を育成し、産業界ならびにグローバル社会に供給しなければなりません。

このような認識の下、情報通信技術教育合同会議2014では、特に、「次世代を担う学生が挑戦可能な機会の紹介」をテーマとして、それぞれの具体的な活動を紹介し、学生の参加の機会の提供に関する議論を行うこととしました。ICT業界で就業し社会に貢献したいと思っている学生さんやICT教育に携わるの方々のご参加と合同会議への積極的なご貢献を期待しております。

## ・開催概要

名称: 情報通信技術教育者合同会議2014

(英文名: ICT Educators Summit 2014, 略称ICTES2014)

会期: 2015年3月10日(火) 13:00~17:00

主催: ICT教育推進協議会 (ICTEPC)

後援: 経済産業省・総務省

会場: 東京大学本郷キャンパス工学部2号館 東京都文京区本郷7-3-1

来場参加費: 無料

参加者数参加者数: 合計68名(会場参加者 32名、ハンズオンセミナー参加者 16名、関係者20名)

公式Webサイト: <http://ictepc.jp/ictes2014>

お問い合わせ先: ICT教育推進協議会事務局

ICT教育推進協議会  
会長 江崎 浩



# 会場へのアクセス・会場内のご案内

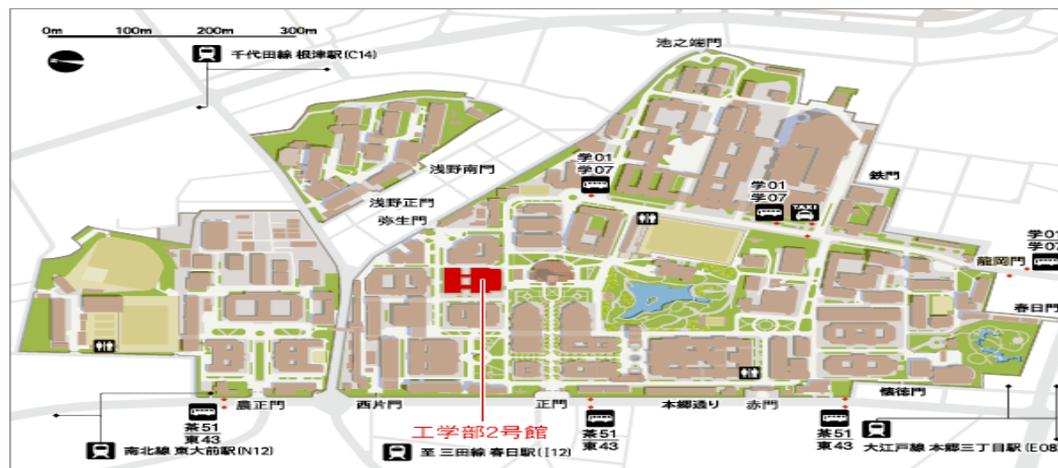
**会場**：東京大学本郷キャンパス工学部2号館

東京都文京区本郷7-3-1

東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線 本郷3丁目より徒歩15分

南北線 東大前駅より徒歩10分

千代田線 根津駅より徒歩10分



## 2014年度活動報告

**概要:** ICT教育推進協議会の今年度の活動報告を致します。

**発表者:** 長部 謙司氏 ( ICT教育推進協議会 事務局長/シスコシステムズ合同会社  
プログラムマネージャ)

## 功労賞授賞式

ICT教育推進協議会功労賞は、過去1年間で最も協議会の活動に貢献した組織ないし個人に贈られる賞です。今年は、以下1個人に贈られました。

押元 和義殿

貴殿はモバイルWGの推進を積極的に進め協議会の活性化に大きく貢献いたしましたよってその活動に敬意を表するとともにますますの活躍を期待しここに表彰いたします。

## パネルディスカッション「協議会活動に参加して得たこと」

**概要:** 当協議会では、モバイルWG、ネットワーク教育WGの各メンバー主体となり、学生向けのセミナー、コンテスト、企業見学会などを行っています。  
今回、ここに参加した学生に登壇してもらい、感想はもちろんのこと、今後どのような企画が学生にとっての「機会」につながるかを話し合っていく場とします。

**対談者:** 江崎 浩氏 (ICT教育推進協議会会長/東京大学大学院 情報理工学系研究科教授)  
坂崎 健斗氏 (玉川大学 工学部ソフトウェアサイエンス学科 3年)  
中島 貞聡氏 (専門学校穴吹情報公務員カレッジ 情報システム学科 3年)  
長部 謙司氏 (ICT教育推進協議会 事務局長/シスコシステムズ合同会社  
プログラムマネージャ)

## 講演

### インターネット検定「.com Master」の情報基礎教育への活用

概要:最新の受験データや導入事例を元に、インターネット検定をご紹介します。

登壇者:鈴木 聡介氏(エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 技術開発部 担当課長)

## パネルディスカッション

### 「次世代を担う学生が挑戦可能な機会を作るには？」

**概要:** ICT教育推進協議会は、21世紀型の社会・産業を支えるICTシステムを設計・構築・運用、そして進化・深化させることができる人材を育成し、産業界ならびにグローバル社会に供給することを目標の1つに掲げています。

今回は、コミュニティやボランティア活動を通じて、企業(組織)と学生が繋がる「機会」を紹介し、今後の活動、展望などを話し合っていく場とします。

**対談者:** 伊勢 幸一氏 (ネットワーク教育WG主査/テコラス株式会社技術研究所所長)

岡田 雅之氏 (一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
技術部 課長)

仲西 亮子氏 (日本ネットワーク・オペレーターズ・グループ(JANOG)/  
三井情報株式会社)

吉村 睦美氏 (CompTIA日本支局 マーケティングシニアマネージャ)

## ハンズオンセミナー 「HTML5でスマホアプリを作ろう！ Firefox OSアプリ作成ハンズオンセミナー」

**概要:** iPhone、Android以外にもスマートフォンで動作するOSはあります。  
その一つが第3のOSとして注目を集めているFirefox OSです。  
これはMozillaが開発するオープンソースのOSで、Webページを作成できる方であれば容易にアプリ開発できる点が特徴です。

本ハンズオンセミナーでは、Firefox OS の簡単なアプリ開発を行います。  
アプリを自分の手で開発し、そのアプリをスマートフォンの実機で動作させることで、  
ソフトウェア開発の楽しさとHTML5に代表されるWebの力を知っていただくことが本ハンズオン  
セミナーの目的です。

**講師:** 清水 智宏氏 (一般社団法人Mozilla Japan テクニカルマーケティング)

# 会場内風景

## 【オープニングセッション】



## 【功労賞】 押元和義氏



## 【2014活動報告】



## 【協議会活動に参加して得たこと】



# 会場内風景

## 【インターネット検定「.com Master」の情報基盤教育への活動】



## 【次世代を担う学生が挑戦可能な機会を作るには？】



# 会場内風景

【HTML5でスマホアプリを作ろう！ Firefox OSアプリ作成ハンズオンセミナー】



# 協力・後援



## ・協力

NTTコミュニケーションズ株式会社



## ・後援

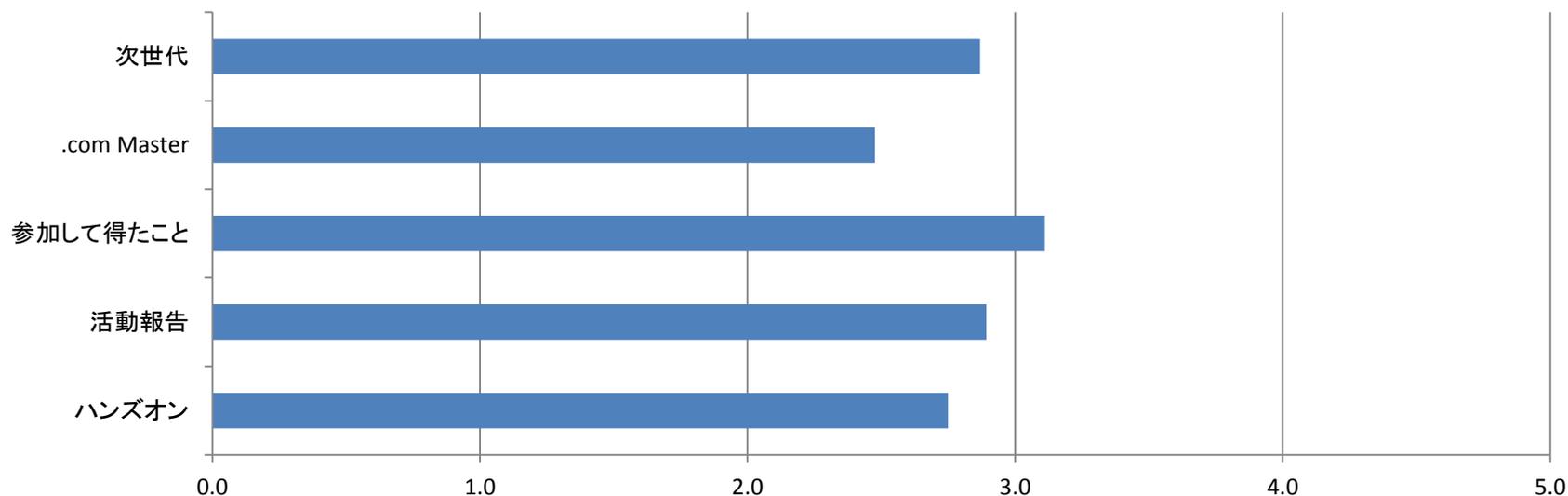
経済産業省

総務省

# セッション参加者 アンケート結果(参加セッション満足度)

## ☆解説

5段階評価で、参加者の皆さんに各プログラムの満足度をご回答いただきました。平均ポイントは、3.0あり、参加者の満足度をほぼ得られているものと考えます。



次世代	「次世代を担う学生が挑戦可能な機会を作るには？」
.com Master	「インターネット検定「.com Master」の情報基盤教育への活用」
参加して得たこと	「協議会活動に参加して得たこと」
活動報告	「2014年度活動報告」
ハンズオン	「HTML5でスマホアプリを作ろう！ Firefox OSアプリ作成ハンズオンセミナー」

# セッション参加者アンケート アンケート結果



## (プログラム内容について)

- ・学生に対する情報リーチ手段として、はてなブックマークのPR記事は、未だに根強いと思います。
- ・協議会活動に参加して得たことは、学生の目線で話が聞けたので、得るものがありました。地方学生の大変さも感じました。
- ・学生向けの情報がとても参考になりました。
- ・押元様おめでとうございます。学生を採用していただき、ありがとうございます。
- ・高校の教員として参加しましたが、高校教育の中で取り組めることが多くあると感じることが出来ました。また、そのための課題も多くあると感じた。
- ・ハンズオンは実機が使えてよかった。説明も分かりやすかった。
- ・学生の意見も聞いて大変参考になりました。
- ・時間の余裕がもう少しあるとよかった。帰りの時間が。
- ・満足しております。
- ・ハンズオンの時間をダブリをなくしてほしい
- ・体験版ということではよかった。もう少し時間が必要かなと思います。
- ・もっと時間があると良いです。アプリ作成が楽なようなので、今後使ってみたいです。
- ・実機で動作確認することが出来たので、とても良かったです。
- ・非常に興味深い内容でした。
- ・Windowsドライバインストール手間取りました。本体を接続するタイミング、ドライバが認識されるタイミング等資料が少なく、try & errorで実施したので講座内容を途中聞けないところがありました。残念です。

# セッション参加者アンケート アンケート結果

## (次回開催時に取り上げてほしいテーマについて)

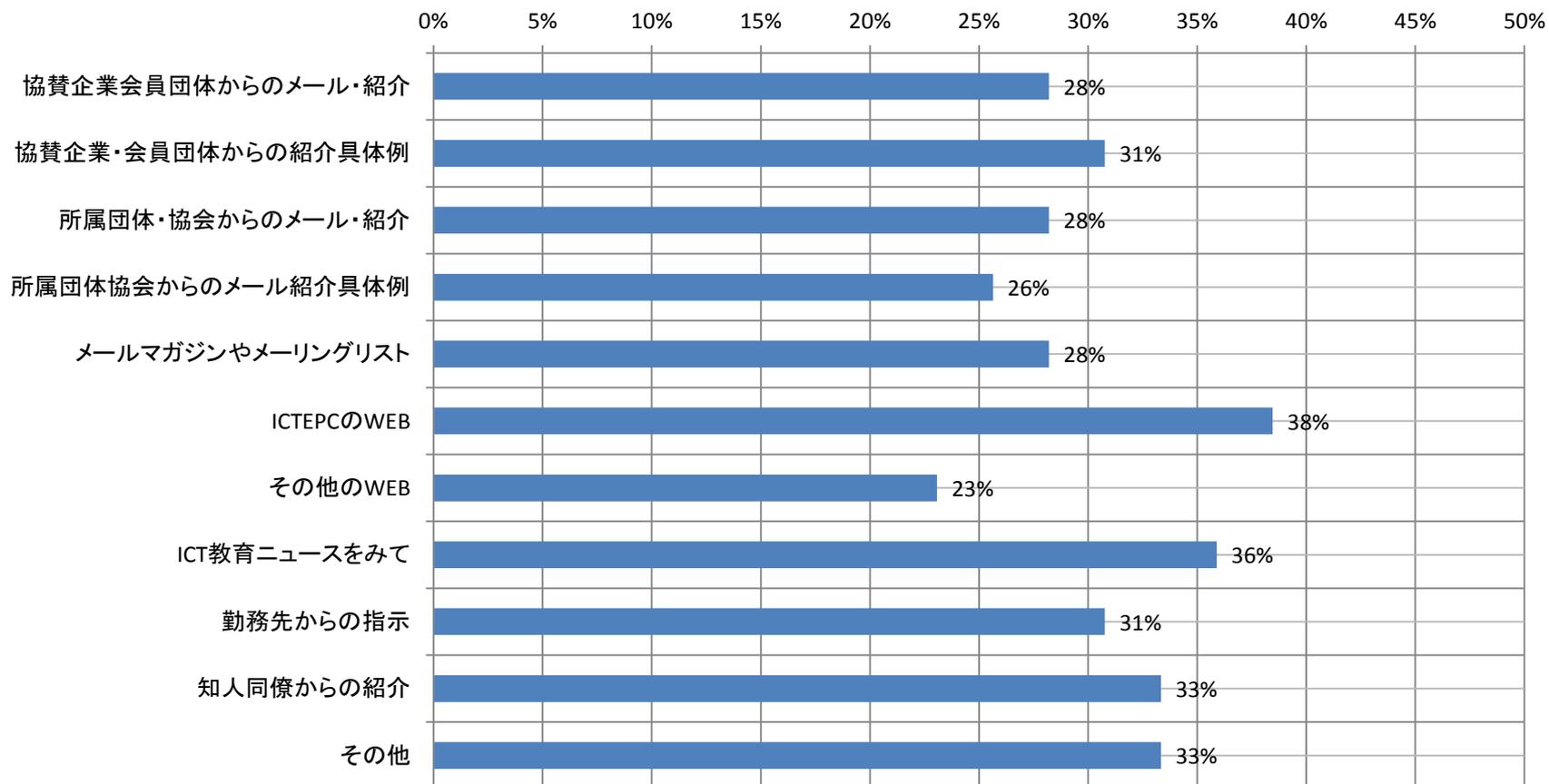
- 学生との認識のギャップについて(学生ゲストを呼んで)
- 今回の継続で、企業エンジニア学生の連携方法を進めてほしいです。
- 教育現場の実際と産業界の実際を結びつけるような。
- 新しい技術の動向など
- Firefox OS
- セキュリティ 攻防戦
- 本講座(ハンズオンセミナー)を丸1日か、2日間版で作ってください。
- クラウド、ビッグデータ、IOTなどが教育に与える影響、考えねばならないこと

# セッション参加者アンケート アンケート結果

## (全般についての意見・感想)

- ・ありがとうございました。
- ・満足です。
- ・ありがとうございました。
- ・周知力が弱い、学会やコンソーシアムへも周知してはどうか。

# セッション参加者 アンケート結果 (参加のきっかけ)



# まとめ

今年で5回目を迎えた情報通信技術教育者合同会議ですが、毎年各分野から一般の方も含め参加して頂いております。

参加者の皆様からは、内容が充実していると例年ご好評を頂いております。

また、ハンズオンセミナーも1日じっくりと講師の方がレクチャーし、分かりやすく満足頂いております。

当協議会の年に1度の一大イベントですが、今後とも多くの皆様に充実したお時間を過ごして頂けるよう努めて参りたく思います。

本報告書に関するお問い合わせ先:

ICT教育推進協議会事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院情報理工学系研究科江崎研究室内

Email: info@ictepc.jp 情報通信技術教育者合同会議2014 <http://ictepc.jp/ictes2014>